

中区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
中区豊かなこころづくり応援事業		中区役所 自治推進課			
事業目的	事業内容	活動指標	R3	R4	R5
乳児と保護者に絵本を配布したうえで、絵本の読み聞かせを体験してもらい、その重要性を認識してもらおう。また、親と子の心のふれあいの契機とすることで、今後も絵本に興味・関心をもってもらうことを目的とする。	4か月児健診時に、絵本一冊(複数冊から選択)と子育ての参考となる資料をセットにしたブックスタートパックを配布する。ボランティアによる読み聞かせ体験に対する乳児の反応から、保護者に「読み聞かせ方法」を学んでもらう。また今後、保護者が乳児のために絵本を選ぶ参考となるよう、図書館員がオススメする絵本の展示コーナーも設ける。	絵本配布率 (配布数/健診者数)	100% (853/853)	100% (889/889)	100% (762/762)
		絵本の読み聞かせの参加人数	0人 (コロナウイルスの影響により読み聞かせ24回分中止)	0人 (コロナウイルスの影響により読み聞かせ27回分中止)	51人 (10月より再開、10回分実施)
①妥当性		②協働の視点		③インパクト	
◎	豊かなこころづくりを応援する事業として、乳児向けの絵本を配布し、読み聞かせの重要性について紹介・実演することにより、保護者同士の交流に寄与して、地域の繋がりを深めることに繋がっているため、公益的である。	○	図書館職員のみで絵本の紹介や読み聞かせの実演をするには限界がある中、豊富な経験・知識を持つボランティアと協働しながら事業を実施している。	○	絵本配布時に中図書館のお知らせ等を同封し、中図書館の取組を周知している。
④効率性		◎ 庁内関係部署や協力団体との業務分担を明確に行うことで円滑に運営しており、乳児に対する事業としては同種事業はないため、効率性は高い。			
⑤自立発展性		総合評価			
△	絵本の紹介や読み聞かせの実演等はボランティアのみでも実施することができるが、配布用絵本の購入費用や地域の乳児に対して広く実施するという点において、行政の関与が必要と考える。	○	乳児向け絵本の配布・紹介、読み聞かせの実演を行うことで、乳児の絵本への関心を引き出すだけでなく、親子のコミュニケーションの時間を設けることで豊かなこころづくりに貢献している。また、読み聞かせの場が保護者同士の交流の場にもなっており、地域住民間の結びつきを強める機会づくりに寄与している。		
今後の方向性(課題、改善提案等)					
拡充 継続 見直し 廃止	・令和5年10月より読み聞かせを再開し、これによる親子のふれあいの習慣を継続してもらうため、絵本の配布や図書館の利用促進を続ける。				